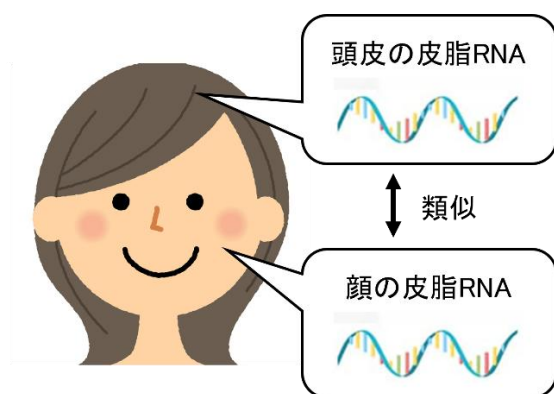


<発表資料>

2026年1月8日 26001

## 顔と頭皮の皮脂RNA発現パターンが類似していることを確認

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)スキンビューティ第1研究所は、皮脂中に含まれるRNA(皮脂RNA)<sup>\*1</sup>を解析し、顔と頭皮でRNAの発現パターンが類似することを明らかにしました。



今回の研究成果の一部は、第48回日本分子生物学会年会(2025年12月3～5日・神奈川県)にて発表しました。

<sup>\*1</sup> 2019年6月4日 花王ニュースリリース

[皮脂中に人のRNAが存在することを発見 独自の解析技術「RNA Monitoring\(RNAモニタリング\)」を開発](#)

### 背景

花王は、2019年に皮脂中にRNAが存在することを発見し、あぶら取りフィルムで肌を傷つけることなく顔の皮脂を採取し、そこからRNAを抽出して網羅的に解析する「皮脂RNAモニタリング」技術を開発しました。さらに、皮脂RNAの発現情報から顔について少なくとも2つの肌タイプに分類が可能で<sup>\*2</sup>、ひとつは「角化」など皮膚バリア機能を担う遺伝子が、もうひとつは「免疫応答」などの皮膚免疫機能を担う遺伝子が高く発現することが特徴であることを見いだしています。

花王はこれまで、主に顔の皮脂を用いて知見を蓄積してきましたが、皮脂RNAは頭皮からも取得できます。頭皮は顔と基本的な構造や機能に共通点が多いものの、その詳細な解析はこれまで十分に行われていませんでした。

そこで今回、この技術を活用し、同一人物における顔と頭皮の皮脂RNA発現情報を解析しました。

<sup>\*2</sup> 2024年2月19日 花王ニュースリリース

[皮脂RNAによる肌タイプ分類の開発 遺伝子発現\(RNA\)特徴が異なる2つの肌タイプが存在することを発見](#)

### 顔と頭皮の皮脂RNA発現パターンの類似性

日本人女性33名を対象に、顔および頭皮から同時に皮脂RNAを採取し<sup>\*3</sup>、得られた約2万種類の各RNAについて、平均発現量を部位ごとに算出しました。両部位のRNA発現プロファイルの類似性をスピアマンの順位相関で評価した結果、非常に強い相関を示しました(図1)。このことから、どの種類のRNAが

相対的に高く(あるいは低く)発現しているかという発現パターンが、顔と頭皮で類似することが明らかになりました。

\*3 2023年1～2月に20～49歳を対象に実施

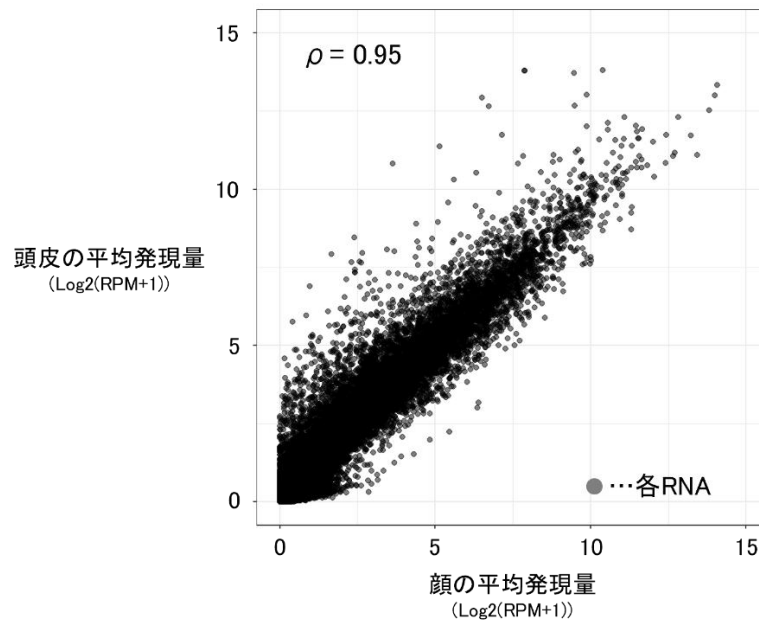


図1. 顔と頭皮における皮脂RNA発現パターンの類似性

## まとめ

今回、顔と頭皮で皮脂RNAの発現パターンが類似することを明らかにしました。

花王はこれまでに、皮脂RNA発現情報に基づく肌タイプを顔画像から推定する「肌遺伝子モード判定」技術を開発しています\*4。今後は、肌遺伝子モードを頭皮にも応用する検討を進めていきます。

\*4 2025年5月21日 花王ニュースリリース

[皮脂RNA発現情報に基づく肌タイプを、顔画像から推定するモデルを構築 だれでも手軽に客観的な肌の指標を利用することが可能に](#)  
[皮脂RNA発現情報に基づく肌タイプを顔画像から推定する「肌遺伝子モード」 アイススタイルの@cosmeアプリに初搭載](#)

<報道関係の方からのお問い合わせ>

花王株式会社 PR戦略センター 企業PR戦略部 電話 03-3660-7041